

政策(基本方針)Ⅳ：みんな元気で笑顔あふれるまちづくり

21

施策名

生涯学習の推進

目的と施策の方針

対象

◆市民、市外からの通勤・通学者

意図

◆生涯にわたって目標・目的を持ち、学習を行なっている

成果指標	単位
A：目標・目的を持って実際に学習を行なっている人の割合〔市民アンケート〕	%

成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	34.6%	成り行き値	34.6%	34.6%	34.6%	34.6%	34.6%
		目標値	37.0%	38.2%	39.4%	40.6%	42.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：目標、目的を持って実際に学習を行なっている人の割合について、成り行き値は、高齢化がさらに進むことや(余暇を利用して学習やスポーツに親しんだり、ボランティア活動に参加する人が増えると予想される)、経済状況が不安定なことを考慮して、平成21年度の実績値である34.6%で平成27年度まで推移するとして設定しました。

目標値は、今後、幅広い市民の意見を聴きながら「生涯学習のまち(都市)宣言」の検討を進め、さらに啓発活動を行なうこと、主催講座や市民大学の充実、図書館活動の広報や啓発を行ない、利用の機会提供に努めること、主催講座、自主講座などの周知を図り、団体参加を促すこと、人材を発掘し、人材の活用を進めるなどの取り組みをとおして学習に取り組みたいと考える人を増やすことで、平成22年度の第1期の学習とスポーツを含めた目標値である42.0%を、平成27年度の目標値として設定しました。

◆施策の現状と今後の状況変化

- 高齢化がさらに進むことで、学習に親しんだり、ボランティア活動に参加する人が増えると予想されます。
- 各種施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が予想されます。
- 今後、幅広い市民の意見を聴きながら「生涯学習のまち(都市)宣言」の検討を進めることで、生涯学習に関心を持つ市民が増えると予想されます。
- 社会情勢の変化に伴い、多様な状況に応じた図書の整備がさらに必要になると予想されます。

◆施策の課題

- 各種施設、設備の老朽化に伴う計画的な整備の推進。
- 「生涯学習のまち(都市)宣言」の検討と生涯学習の推進。
- 社会情勢の変化を見極めた、図書の整備。
- 図書館を活用した、「夏休み自主学习支援事業」の検証と取り組み方針。

◆施策の方針

- 豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯学習の推進を図るため次の方針を設定します。
- ①市民が自ら生涯学習に取り組みやすい環境づくりに努めます。
 - ②豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯学習の推進を図ります。

協働によるまちづくりの具体策（市民と行政の役割分担）

ア) 住民（事業所、地域、団体）の役割

- ①市民は、市主催または地域主催等の様々な事業に参加したり、指導者として関わります。
- ②学習意欲を持ち、自主的に取り組みます。
- ③地域では、文化活動等や各種講座を開催します。
- ④団体は、自主的に活動を行ないます。

イ) 行政の役割（市がやるべきこと）

- ①市民の多様なニーズを捉えた各種講座等の開催と支援。
- ②各種施設の計画的な整備と管理・運営の実施。

施策の展開（基本事業）

66 基本事業名：学習の啓発

対象

◆取り組んでいない市民

意図

- ◆学習に取り組むことの必要性を認識できる
- ◆施設や学習内容を知ることができる

成果指標							単位
A: 学習に取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合[市民アンケート]							%
成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	56.0%	成り行き値	57.4%	58.1%	58.8%	59.5%	60.0%
		目標値	58.0%	60.0%	62.0%	64.0%	66.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、高齢化がさらに進むことや（余暇を利用して学習に親しんだり、ボランティア活動に参加する人が増えると予想される。）、経済状況が不安定なことを考慮して、平成18年度から平成21年度までの実績値の平均で推移すると考え、平成27年度を、60.0%に設定しました。

目標値は、今後、幅広い市民の意見を聴きながら「生涯学習のまち（都市）宣言」の検討を進めることや、学習に取り組むたいと考える人を増やすことにより、さらに啓発活動を行なうことで、平成21年度実績値に10.0%上乘せし、過去最高値の65.7%を上回る66.0%を平成27年度目標値として設定しました。

施策の展開（基本事業）

67 基本事業名：学習への参加機会の提供

対象 ◆市民

意図 ◆学習に参加する機会がある

成果指標	単 位
A：学習に親しむ機会があると思う市民の割合〔市民アンケート〕	%
B：図書館を利用している市民の割合〔市民アンケート〕	%

成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	48.1%	成り行き値	48.1%	48.1%	48.1%	48.1%	48.1%
		目 標 値	49.3%	49.9%	50.5%	51.1%	52.0%
B	44.5%	成り行き値	44.5%	44.5%	44.5%	44.5%	44.5%
		目 標 値	45.5%	46.0%	46.5%	47.0%	48.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

学習について、目標値については、個々人の状況もあるので、大きくは伸びにくいですが、身近な学習施設だけでなく、市全域の学習施設の利用や新しい学習メニューの開設により、平成22年度の目標値を46.0%として設定しました。

A：成り行き値については、過去の実績を踏まえて、今後も平成21年度の実績値の数値で推移するとして、48.1%に設定しました。

目標値については、主催事業の内容や図書館活動を充実する等の多様な取り組みを通して、学習に親しむ機会を増やすことで、目標値を、過去3年の実績値の最高値を上回る、52.0%に設定しました。

B：図書館を利用している市民の割合（追加）の成り行き値については、平成21年度の利用実績が、近年の経済状況の悪化により、無料で情報収集ができる施設であるため高い水準にあると判断し、今後も大きく変動することなく推移すると考え、平成27年度まで現状の44.5%で設定しました。

目標値については、蔵書整備の充実や図書館活動の広報と啓発を行ない、利用の機会提供に努めることで、平成27年度目標値を48.0%と設定しました。

施策の展開（基本事業）

68 基本事業名：生涯学習団体の育成

対象 ◆取り組んでいる市民

意図 ◆学習に取り組む仲間ができる
 ◆学習の指導者になる

成果指標		単位
A：生涯学習団体に参加している人の割合〔市民アンケート〕		%
B：学習の指導者として指導している人の割合〔市民アンケート〕		%

成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	31.3%	成り行き値	31.3%	31.3%	31.3%	31.3%	31.3%
		目標値	33.5%	34.6%	35.7%	36.8%	38.0%
B	3.2%	成り行き値	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%
		目標値	3.4%	3.5%	3.6%	3.7%	3.9%

◆成果指標の目標設定とその根拠

- A：成り行き値については、平成21年度の実績値の数値で推移するとして、31.3%に設定しました。
 目標値については、施策の成果指標である「目標、目的を持って実際に学習を行なっている人の割合」の伸び率を参考に、余暇を利用してボランティア活動に参加する人が増えると予想され、主催講座、自主講座などの周知を図り、団体参加を促すことで、平成27年度の目標値を38.0%に設定しました。
- B：成り行き値については、平成21年度の実績値の数値で推移するとして、3.2%に設定しました。
 目標値については、施策の成果指標である「目標、目的を持って実際に学習を行なっている人の割合」の伸び率を参考に、人材を発掘し、今後計画されている人財バンクへの登録により、人材の活用を進めることで、平成27年度の目標値を3.9%に設定しました。
- ※成果指標Bでは、人材を財産と考え、あえて「人財バンク」と表現しています。



施策の展開（基本事業）

69

基本事業名：**生涯学習施設（環境）の整備**

対象

◆市民、市外からの通勤・通学者

意図

◆活動する場がある

成果指標							単位
A：学習に親しむ施設が整っていると思う市民の割合〔市民アンケート〕							%
成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	57.0%	成り行き値	57.0%	57.0%	57.0%	57.0%	57.0%
		目標値	58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、このままの状態を維持するとすれば、平成21年度の実績値の数値で推移すると考え、57.0%に設定しました。

目標値は、老朽化した施設の改修に取り組むことや、施設の周知をさらに進めることで、成り行き値より微増すると考え、60.0%を目標値として設定しました。

